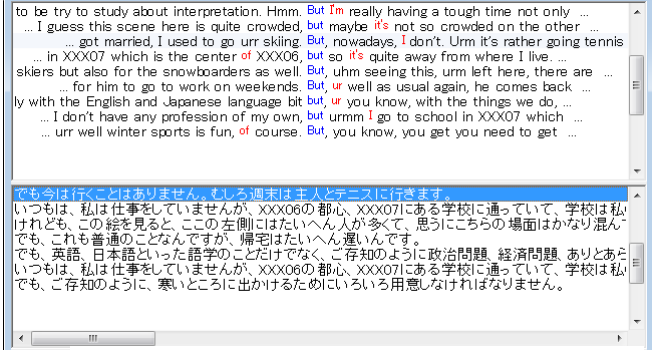


テーマ名	コンピュータでことばを分析してみよう
担当教員	嶋田 和成 教授
学部：分野	共通教育センター（人文・社会科学系）
内 容	<p>近年のコンピュータの発達によって、大量のことばを瞬時に分析し、様々なことばの特徴を語彙・語法・文法などの面から明らかにすることができるようになりました。この大量のことばを電子化したデータをコーパスと呼び、辞書や教科書の作成においても、コーパスの分析結果が役立っています。</p> <p>本授業では、英語と日本語の話し言葉・書き言葉のコーパスを使用し、主に以下の3つの疑問に答えるための分析を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語母語話者と日本人英語学習者の単語や表現の使い方は、どのように違うのだろうか。 2. 英語母語話者がよく使う単語や表現は、どの程度、英語教科書の内容に反映されているのだろうか。 3. 日本語の単語や表現の使い方は、話し言葉と書き言葉ではどのように違うのだろうか。 <p>この授業でことばをコンピュータで分析することの面白さを感じ取っていただければと思います。</p> <p>※リモート授業（遠隔）も可能です。</p>
写真・画像	 <p>コーパスツール ParaConc 1.0 を使った 英語と日本語の対照分析の例</p>
対象生徒	全ての高校生（普通高校・専門高校）